

平成 22 年度

## 病害虫発生予察注意報（第 2 号）

平成 22 年 8 月 26 日

茨城県病害虫防除所

**オオタバコガの発生が多くなると予想されます。**

**若齢幼虫のうちに防除を徹底してください。**

〔発令の内容〕

作物名：野菜類，ダイズ，花き類

病害虫名：オオタバコガ

発生量：多い

発生地域：県下全域

〔発令の根拠〕

8 月下旬現在，フェロモントラップへの雄成虫の誘殺数は，龍ヶ崎市，結城市（結城地域農業改良普及センター調べ）で平年より多い（図 1）。また，土浦市，筑西市でもフェロモントラップへの雄成虫の誘殺数は平年より多い。

8 月下旬現在，ナスでの寄生虫数は平年よりやや多い。また，トマト，ダイズ等においても被害を確認している。

気象予報（8 月 20 日発表）によると，向こう 1 か月の気温は平年より高く，降水量は少ないと予想され，本虫の発生を助長する気象条件である。

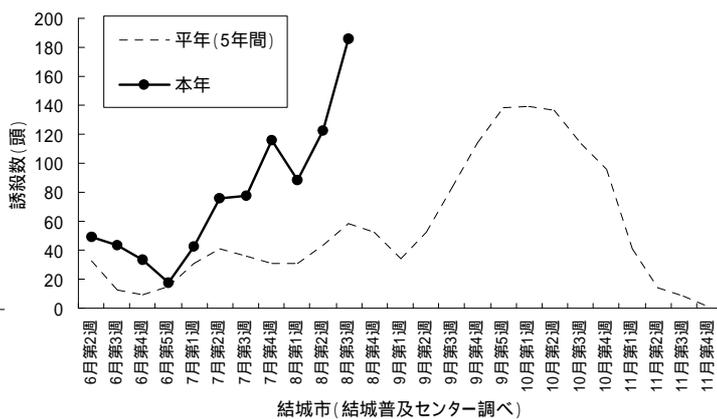
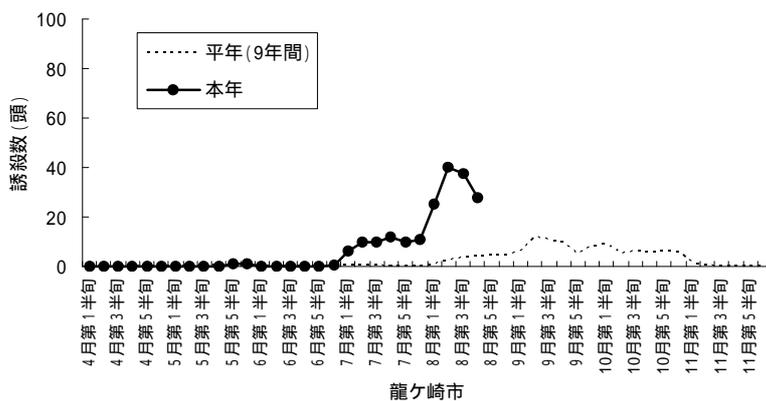


図 1 フェロモントラップによるオオタバコガ雄成虫の誘殺状況

[ 防除対策 ]

幼虫の齢期が進むにしたがって薬剤の殺虫効果は低くなるため、若齢幼虫のうちに防除を徹底する（防除薬剤は表1を参照）。

レタスでは、結球内に幼虫が食入するとその後の防除が困難になるため、発生初期ならびに結球始期の防除を徹底する。また被害を未然に防ぐために薬剤の育苗トレイ灌注は有効である。

トマト、ピーマン等では、収穫終期まで加害を続けるので、発生しているハウスでは防除を徹底する。

薬剤散布は、薬液が葉裏や株元にもよくかかるよう丁寧に散布する。また薬剤抵抗性の発達を抑えるために、同一系統の薬剤は連用しない。

施設栽培では、ハウスの開口部に防虫ネットを展張し、成虫の侵入防止に努める。

表1 オオタバコガに登録のある主な薬剤（平成22年8月10日現在）

系統名	薬剤名	レタス	非結球レタス	ハクサイ	キャベツ	トマト	ミニトマト	ナス	ピーマン	イチゴ	キク
ネオニコチノイド	モスピラン粒剤										
IGR 剤	アタブロン乳剤										
	カスケード乳剤										
	ファルコンフロアブル										
	マッチ乳剤										
BT 剤	エスマルク DF										
	デルフィン顆粒水和剤										
その他	アフーム乳剤										
	コテツフロアブル										
	スピノエース顆粒水和剤										
	トルネードフロアブル										
	フェニックス顆粒水和剤										
	プレオフロアブル										
	プレバソン フロアブル 5	散布 育苗トレイ灌注									

農薬を使用する際は、農薬ラベルに記載の使用方法・回数・注意事項等を確認のうえ使用して下さい。

また、薬剤散布の際は、周辺作物等への飛散（ドリフト）に十分注意してください。

連絡先 茨城県病害虫防除所 Tel 029-227-2445 <http://www.pref.ibaraki.jp/nourin/byobo/>